

## バイオセラピー学 特別研究総合演習（三）（2単位）

担当者氏名 小川 博・浅野房世・林 良博・山口裕文・宮本 太・安藤元一・土田あさみ・木村正典  
・佐々木 剛・増田宏司

### ◆学習・教育目標

各専修指導教授および授業担当教員の指導の下で博士論文として、研究成果を体系的に取りまとめるための理念を習得することが大きな目的である。自分にとっての研究とは何か？バイオセラピー学とは何か？これらの問いに対し、各自の研究を基礎にして研究者として自立できる思考と知識を構築する。そして博士としてこの地球環境にどのような貢献ができるのか？どのように取り組んでいくことができるのか？研究者として自立できる素養を見につける。  
(オムニバス方式/全15回)

### ◆取り扱う領域（キーワードで記載）

植物共生学                      野生動物学                      人間植物関係学                      伴侶動物学  
植物介在療法学                      動物介在療法学

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
	人間動物共生学専修：	野生動物と伴侶動物の生理、生態：小川 博 野生動物の生態、行動：安藤元一 野生動物の遺伝子：佐々木 剛 伴侶動物と人間の関係：土田あさみ 伴侶動物の行動、遺伝子：増田宏司	各専修の担当教員とあらかじめ実施内容および準備を打ち合わせておくこと。
	人間植物関係学専修：	植物の自然環境：宮本 太 植物と人の生活：山口裕文	
	生物介在療法専修：	植物介在療法における心理と行動：浅野房世 動物介在療法における行動、生態：林 良博 動物介在療法における活用について担当：土田あさみ	

### ◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）  
各教員よりその都度指示する。

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）  
各教員よりその都度指示する。

### ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

各教員によるレポートおよび質疑応答により評価

### ◆その他受講上の注意事項

指導教授との綿密な打ち合わせを常に行なうこと。